



山本 優人 議員

### 農政のグランドビジョンは

**質問** 国は、4年後の2018年を目途に減反を廃止する政策の大転換を発表し、農家は米価の下落予想・所得減で先の見通しに不安を募らせている。農業が厳しい状況に直面している中で、持続可能な力強い農業を実現するためには、基本となる人と農地の問題を一体的に解決していく必要がある。

**答弁** 当町において作成する、人・農地プランとはどのようなものなのか。作成にあたっての農政グランドビジョンがあるのか。

**質問** 各集落内で過去に側溝などがあふれた箇所があったら速やかに防水対策を取れる体制整備が必要と考えるが、今後の対応は。

**答弁** 大雨や強風などで、町道や河川に被害が発生する恐れが予想される場合、建設課担当職員で、全町のパトロール

**質問** 観光情報に有効な発信方法として公共施設や飲食店・商店にいつでもつながるWi-Fi環境を整備し、リアルタイムに町の情報を発信することが観光の情報提供につながりが必要と思うが。

**答弁** 新年度に役場庁舎をはじめ峰栄館、ファガス、道の駅、町内小中

### 集落内の排水路点検・整備を強化せよ

### Wi-Fi化（公共無線LAN）の整備は

**用語説明**  
※Wi-Fiとは無線でネットワークに接続する技術。  
似たような言葉に「無線LAN」があるが、同じものと考えて問題はない。



### 今後の農業振興策は

**質問** 町は高付加価値な染料植物栽培、薬用植物など新たな戦略作物の模索、有機栽培による差別化ブランド化の町の後見通しや対応支援は。薬用植物は5年間の試験栽培後、スピード感のある対応が必要では。経営所得安定交付金が半額になること、日本型直接支払制度創設等営農にどう影響が出るのか、試算はあるのか。関連団体とともに国に働きを強めてはどうか。

**答弁** 戦略作物について、食用の薬用植物には

**質問** 町では全農家対象の調査結果を基に、八森1地区、峰浜5地区、合計6地区に分類して平成24年度にプランを作成し、認定農業者や農業法人などを「中心となる経営体」に位置づけし、農地の集積や作業集積を図るよう計画をしている。国の制度内容をよく見極め、町の農業を守る立場で努力していく。

**答弁** 町では全農家対象の調査結果を基に、八森1地区、峰浜5地区、合計6地区に分類して平成24年度にプランを作成し、認定農業者や農業法人などを「中心となる経営体」に位置づけし、農地の集積や作業集積を図るよう計画をしている。国の制度内容をよく見極め、町の農業を守る立場で努力していく。

**質問** 近年少子高齢化・産業構造変化・家族環境の多様化と地域の教育力の変化など社会が大きく

**質問** 町では全農家対象の調査結果を基に、八森1地区、峰浜5地区、合計6地区に分類して平成24年度にプランを作成し、認定農業者や農業法人などを「中心となる経営体」に位置づけし、農地の集積や作業集積を図るよう計画をしている。国の制度内容をよく見極め、町の農業を守る立場で努力していく。

### 教育のブランド化を図る考えは

**質問** 近年少子高齢化・産業構造変化・家族環境の多様化と地域の教育力の変化など社会が大きく

**答弁** 近年少子高齢化・産業構造変化・家族環境の多様化と地域の教育力の変化など社会が大きく



佐藤 克實 議員

用途別に種類があり、山菜、お茶、飲み物、うがい薬用他の薬草があり、染色植物にはベニバナなどである。町では「生葉のまちづくり」を目指して試験栽培を開始しており、薬草栽培を定着させるべく優先的に取り組みたい。

平成23年から県北地区の米は「A」ランクとなり、要因として「土づくりがおろそか」と言われている。土がやせてきていることが食味低下の原因と考えられている。適正な土壌改良と堆肥をはじめとする有機質の使用が必要不可欠である。土づくりをメインとした有機農業の推進が産地化・ブランド化につながるものと考えている。

薬用植物の栽培計画については国の新たな補助事業「薬用作物産地確立支援事業」を実施すべく計画を見直し・変更して



当町で栽培しているカミツレ

いる。平成27年度からは一般公募を予定し、収量見込や販売価格、粗収益情報を提供し、実施する予定だ。米政策見直しで交付金の半減により、平成25年度と同じ面積では7700万円と影響は大きい。町独自で激変緩和策を講ずるのは困難と考える。

**答弁** 近年少子高齢化・産業構造変化・家族環境の多様化と地域の教育力の変化など社会が大きく